

別記第33号様式（第20条関係）

（表）

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処分実績報告書（ 年度）

年 月 日

北海道知事 様

報告者

住 所

氏 名

（法人にあつては名称及び代表者の氏名）

電話番号（ ） —

____年度の産業廃棄物の処分の実績について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則第20条第1項（同条第3項において準用する同条第1項）の規定により、次のとおり報告します。

許可等の種類	1 産業廃棄物処分業		2 特別管理産業廃棄物処分業		3 産業廃棄物処理施設設置許可			4 設置許可不要の焼却施設		
産業廃棄物・ 特別管理産業 廃棄物の種類	排 出 者 に つ い て				報 告 者 に お け る 処 分 に つ い て			中 間 処 理 残 さ の 処 分 に つ い て		
	氏 名 又 は 名 称		排 出 事 業 者 の 業 種	排 出 量 又 は 受 託 量	施 設 の 所 在 地 及 び 施 設 の 種 類			処 分 者 の 氏 名 又 は 名 称		
	自 社 物 / 他 社 物 の 別	排 出 場 所 又 は 積 込 場 所 の 市 町 村 名			処 分 方 法	再 資 源 化 量	処 分 後 量	委 託 の 有 無	処 分 量 又 は 委 託 量	処 分 方 法

最終処分量の 残 存 容 量	安定型最終処分場	m ³	管理型最終処分場	m ³	遮断型最終処分場	m ³
-------------------	----------	----------------	----------	----------------	----------	----------------

(裏)

- 備考
- 1 この報告書は、前年4月1日から3月31日までに処分した産業廃棄物の量を6月30日までに提出すること。
 - 2 単位（トン又は立方メートル）を明記すること。
 - 3 「許可等の種類」の欄は、該当するもの全てを○で囲むこと。
 - 4 廃棄物の種類ごとに行を分けて記載すること。行が不足する場合は、適宜追加すること。
 - 5 自社物とは報告者が自ら排出した産業廃棄物をいい、他社物とは報告者以外の排出事業者又は中間処理業者等から処分の委託を受けた産業廃棄物をいうこと。
 - 6 「排出事業者の業種」の欄には、日本標準産業分類の大分類から主なものを一つ選択して記載すること。
 - 7 種類ごとの「排出量又は受託量」が不明の場合は、「混合物（紙くず、木くず）」、「混合物（安定型）」等、混合物と記載するとともに、これに含まれる廃棄物の種類を括弧内に明記すること。
 - 8 「再資源化量」の欄には、処分に伴い回収した有価物の量及び肥料又は燃料（RPF等）とする等資源化した廃棄物の量（販売又は自ら利用したもの等の量）を記載すること。
なお、脱水処理等を経た汚泥が減量化された場合等、再資源化量及び処分後量の合計は排出量又は受託量と等しくならない場合もあり得ること。
 - 9 最終処分場の設置者は、当該年度の処分実績の有無にかかわらず、3月31日現在の残存容量を記載すること。
 - 10 産業廃棄物の処理施設の処分実績については、処理施設で処分した量を別紙に記入し添付すること。

(別紙)

産業廃棄物の処理施設等における処分実績

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理施設の種類	発生場所 (市町村名)	処分した産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の種類及び年間処理量							合計
		A	A	A	A	A	A	A	
合	計								

- 備考 1 処分した産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の種類をA欄に記入して、それぞれの種類ごとに年間の処分量を記入すること。
2 単位（トン又は立方メートル）を明記すること。
3 設置許可の不要な施設で処分した場合は、「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理施設の種類の」欄に「許可不要施設」と記載すること。
(日本産業規格 A4)